

秋田県人会 福岡

心をひとつに

題字:ばんば三郎

全国県人会ブロック代表者会議のご報告

県人会ネットワーク化事業、全国県人会ブロック代表者会議出席。11月20日、秋田ビューホテル

北海道から九州沖縄まで、全国6ブロックから18人が参加。秋田県は佐竹敬久知事以下、19人。知事挨拶は、人口減少が続く中で、仕事作り、移住・定住、少子化、地域社会の形成の4本柱の政策を進めている。全国の秋田ゆかりの方の力を借りたいと発言。島崎正美・地方創生監が、日本創生会議は、秋田県の25市町村の内、消滅しないのは、大潟村だけと推計した。こうした推計を打破する為、人的ネットワークを活用したいと発言。



続いて、九州沖縄ブロックは、各ブロックの活動状況発表のトップバッターに指名され、①9月から始めた会報や、②会員掘り起こし、③各同窓会との連携、④東北芋煮会でのキリタンポ鍋、⑤樺細工修業を目指す島根の青年などの報告を通じて、県人会の活動が刺激を受けていると報告しました。

予定された意見交換の時間は取れませんでした。移住・定住・長期滞在のアンケート調査の途中経過を報告しました。アンケート配布140人中、42人が回答し、いわゆる2地域居住には、半分の22人が関心を示し、移住・定住・長期滞在に向けた格安モニターツアーにも、10人が参加すると答えました。

アンケートは、九州沖縄ブロックだけの取り組みです。この後、近畿、東海、ブロックが発表して、佐竹知事が引き取り、みちのく夢プラザでの日本酒が素晴らしい売れ行きであることや、交流推進員の藤井さんが紹介した樺細工修業希望の青年に角館出身としても、大いに期待されました。



首都圏からは、7人が発表し、100万人という秋田ゆかりの方に向けて、高校・大学の同窓会活動と連動させていると報告されました。

東北や、北海道ブロックからも、秋田の教育力を活用していることや、県会への入会資格を秋田出身に限らず、秋田に興味を持つ方すべてに広げている事例、福島の大学で秋田出身の教員が里帰り就職を勧めている事例などが報告されました。佐竹知事からは、観光面で、景観だけの十和田湖が厳しい現状にあり、縄文遺跡など、歴史文化遺産に目を向けていると説明されました。予定された2時間を30分以上超え、懇親会でも議論が続きました。(文責、中村靖)



沖縄・秋田県人会
木村会長から
頂いた泡盛

第5回 東北芋煮会報告

11月3日、福岡市の室見川河畔公園で、東日本大震災以来、5回目の東北芋煮会が開催されました。

晴天に恵まれ、東北6県、県人会の方以外の方も多数、参加され、約190の方が東北の鍋と地酒を楽しみました。秋田県人会からは、ご家族連れで、過去最多の約40名ほどが参加。

小林さんご家族は、熊本から車を飛ばし、4世代、8人で、ご参加頂きました。

せんべい汁、芋煮など参加5県が味を競いましたが、キリタンポ&だまこ餅は、ダントツの大人気。

用意した130食があつという間になくなってしまいました。

来年も、3月6日に福岡市の警固神社境内で、11月3日に、室見川河畔公園で開催します。



11時前から行列ができていました。

奥平さんがだまこ餅を作ってくれた佐々木三知夫さんの新米



みなさんこんにちは。岩谷信介と申します。

現在、みちのく夢プラザに勤務しています。今年4月に秋田県能代市から妻と小学校4年生の息子と一緒に福岡に転勤してきました。

私は、秋田県職員に採用されてから16年目です。初任地は、山本県税事務所で税金の徴収を担当しました。悪質な滞納者に対しては、預金を差押さえるなどして、4年間滞納整理を行いました。

次の勤務地は、能代港湾事務所でした。船舶の係留許可や野積場の使用許可などの港湾管理事務を担当しました。特に港湾・空港では、テロ対策が強化されており、港湾危機管理について勉強しました。

能代港湾事務所で3年勤務し、3番目の勤務地は鹿角地域振興局建設部用地管理課でした。ここでは、秋田県が管理する国道、県道、河川を担当しました。道路占用許可、河川占用許可、境界確認が主な業務です。



3年勤務したのち、山本地域振興局農林部農村整備課に転勤となりました。今度は、土地改良事業、つまり、水田などの区画整理です。区画整理に伴う用地買収や補助金の交付決定、金額の確定、土地改良区の事務としては、土地改良法132条に基づく検査なども担当しました。3年後、今度は北秋田地域振興局農林部農村整備課で2年間、以前と同じ土地改良事業を担当しました。ここから、現在の秋田県福岡事務所に転勤です。秋田県の物産販売、秋田県への観光客誘致に向けたPRの仕事を担当しています。

秋田県庁に勤務して15年、様々な行政の仕事に携わってきました。その経験を生かして秋田の魅力発信をここ福岡から行ってゆきたいと考えています。秋田を離れてみて初めて分かりましたが、秋田には、きりたんぼ、いぶりがっこ、日本酒など秋田ならではの独特の物産がたくさんあります。しかし、まだまだ福岡をはじめ九州の方々に、こうした秋田の魅力を知らない方が多いと感じています。発進力を高め、秋田の観光も含めて、広く伝えていきたいと思ひます。県人会の皆様にも、一段のご協力お願いいたします。



11月3日の芋煮会にて

沖縄訪問記

11月11日～12日、沖縄を訪問した。
沖縄・秋田県人会の木村昭男会長と面談。
発足から30年、最盛期の昭和50年代には70人の
会員がいた。
現在は、沖縄本島の35人が名簿登録。
毎月1回の例会と1月第3土曜日に新年会を開催。
年会費は3000円。年2回、地元紙に無料広告を
掲載している。
高齢化が進み、会員数も減少傾向にあり、本島
の北部などからの参加が減っている。
全国ふるさと会(幹事、栃木県出身者)や、沖
縄・芋煮会(地元のボランティア主催)が同じ11
月29日に別の会場で開催される。



秋田大学同窓会・北光会、名護宏雄・理
事らと意見交換。
沖縄在住の同窓9人の名簿を沖縄・秋田
県人会へ提供。
今後は秋田県人会への活動に参加する。
名護理事は沖縄を代表するIT企業の経営
者、秋田出身の若者が沖縄の大学を卒業
した際、採用した。
この若者は、5年ほど勤務し、秋田の家
業を継いだ。
(株)エムアンドエムで秋田のコメ、乾燥納
豆などを沖縄を含む国内外に移出・輸出
している。横手市の土木事務IT企業「渡
敬」とは協業関係にある。



新会員の情報提供、高校卒業名簿から1名、藤井さんの情報か
ら2名、いずれも本人の了解を得て、沖縄・秋田県人会へ。
具体例から、親の介護で6年間、秋田に帰省した。
兄弟は盛岡、仙台に居住。八郎瀉町出身だが故郷は嫌いだった。
しかし、運転免許を取得し、ヘルパーの資格を取って車で秋田
を回っていて、故郷を再発見した。
72歳1人暮らしの男性。
沖縄を選んだのは暖かいから。
タイと比較し沖縄を選んだ。中学から野球をしていて、沖縄で
も還暦野球に参加している。体が動かなくなったら、秋田か仙
台に帰る。

お会いした方、敬称略で、松本嘉道、名護宏雄、阿嘉宗保、西
平守伸、木村昭男、本間文子。
移動手段：那覇空港からレンタカー、糸満市兼城～浦添市伊祖
～那覇市安謝～那覇市安里に投宿、那覇市案里～那覇空港、
走行距離111キロ。(文責、中村靖)



五城目町の鈴虫が展示されている
『カフェスモールワールド』
沖縄県那覇市牧志3-2-10 那覇てんぷす館 1F

アンケート集計結果

Uターン、二拠点居住に関する意向			
	回答数	比率	
ア	移住検討	5	11.1%
イ	二拠点居住	23	51.1%
ウ	興味なし	16	35.6%
エ	未回答	1	2.2%

その中で現在ネックとなっているのが、交通費。直行便がなく高額になってしまうため、そこへの助成や直行便の整備が望まれました。また、移住者を増やすために望む施策としては、1番が移住体験ツアー。2番目が、地域住民との関係作り。3番目が住宅の斡旋。

移住体験ツアーを望む声が多く、もし開催されるとしたら、4人に1人が参加したいと回答がありました。この声が反映されるよう、来年度に期待したいですね。

また、移住はできなくとも、移住の広報への協力できる、と回答が予想以上に多く、離れているからこそその故郷への想いを感じました。

自由に意見を書いていただく欄には、秋田の情報を九州であまり目にすることがないので、より秋田の魅力を発信してほしい、という意見が目立ちました。

マスコミや官公庁だけで行うのには難しい時代だからこそ、私たち、秋田を知っている人間が、手に届く範囲で魅力を伝えていく必要があるのではないかと感じました。現在秋田には住んでいないからこそ分かる秋田の魅力を、私たちが、九州の人にも、秋田の人にも伝えていけるのではないかと。もっとがんばらねば、身の引き締まる想いでした。

アンケートはこの後も受付しております。

返信用封筒でも、メールでも構いません。どうぞご回答をよろしくお願いいたします。(文責：藤井)

先月、会報と一緒に同封させていただいたアンケートへ、締め切りが近いにも関わらず多数ご回答くださり、ありがとうございました。

45通回答をいただきました。(11月25日現在)

Uターン、もしくは、二拠点居住へ興味関心がある方を合計すると、62.2%と、半数以上が興味があり、その中でも、二拠点居住として、1か月程度、実家や知人のいる故郷へ長期滞在したいと要望が最も多くありました。

最も望む施策		
ア	交通費に対する助成	15
イ	安価滞在住宅	5
ウ	ホテル・旅館等の利用料金の助成	3
エ	その他	1

移住広報への協力		
ア	県・市町村主催の移住相談会へ同席	9
イ	移住体験ツアーを友人・知人へ案内	18
ウ	移住情報を友人・知人へ配布	22
エ	移住のポスターやのぼり設置	4
オ	ブログ、SNSなどで情報拡散	17
カ	その他	2

出張県人会@熊本

熊本在住の西里さんと北九州在住の倉田駿さんの発案で『出張県人会@熊本』が開催されます。

■日時…12月5日(土) 17時～19時

■会場…和風居酒屋 『花鼓』 (※西里さんが勤務されているお店です。)

熊本県熊本市西区二本木2-1-3-16

電話…096-1356-5676

●会費 5千円

●お申込み・お問い合わせ…倉田 駿さん

電話…080-6024-9029

メール:yfb26100@nifty.com

福岡・秋田県人会新年会のご案内

■日時…1月17日(日) 18時～

■場所…アークホテルロイヤル福岡天神1F

『花水木』

■会費…4千円



秋田県新PRキャラクター
『んだタッチ』

詳細は、改めて往復はがきで、ご案内いたします。秋田県にゆかりのある方、秋田が大好き、という方なども大歓迎。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

今後の予定